

# 平成29年度第1回環境担当者研修会開催

開催日時 : 平成29年7月27日(木) 14:00~16:00

開催場所 : ライズヴィル都賀山 (守山市浮気町)

参加者数 : 85名(会員82名、行政3名)



石山会長 挨拶



平成29年7月27日 ライズヴィル都賀山にて、第1回環境担当者研修会を開催しました。今年度は省エネに関し滋賀県低炭素社会づくり大賞を受賞された事業所様、廃棄物処理について先進的な管理をされている事業所様、そして工場一丸となった積極的な環境保全活動をされている事業所様に取り組み事例の紹介を頂きました。

研修内容は次の通りです。

1. 「省エネ取り組み事例紹介」  
平成28年度滋賀県低炭素社会づくり大賞受賞  
(株)日立建機ティエラ 様  
講師：牛谷 健司氏
2. 「廃棄物処理の先進的な管理について」  
王子エフテックス(株)滋賀工場 様  
講師：物部 泰宏氏
3. 「環境保全活動の積極的な取り組みについて」  
中国塗料(株)滋賀工場 様  
講師：田中 透氏

## 1. 「省エネ取り組み事例紹介」

平成 28 年度滋賀県低炭素社会づくり大賞受賞

(株) 日立建機ティエラ 様

講師：牛谷 健司氏



低炭素社会づくりを目指して、目標を実現していくためにさまざまな取り組み、エネルギー原単位改善、廃棄物発生量原単位削減、化学物質大気排出量原単位改善、水使用量原単位改善などを、9割以上の温室効果ガス排出量を占める「使用」段階での排出削減が必須であった。

特に製品による温室効果ガスを抑制していく事が重要であって、あわせて工場の「生産」段階での削減にも取り組み、大きな成果をあげられた事例を多く上げながら、丁寧に説明していただきました。

## 2. 「廃棄物処理の先進的な管理について」

王子エフテックス (株) 滋賀工場 様

講師：物部 泰宏氏



廃棄物処理について、産業廃棄物の種類と量、産廃の多量排出事業者、産廃情報ネット公開情報、有価物業者の情報、廃棄物業者との契約、廃棄物業者の現地監査での注意点等、事例を含め、産業廃棄物の管理について説明いただきました。

特に、個々のアイテムについてはポイントを明確にした解説があり、たとえば紙くず等は一般廃棄物との認識であったが、業種指定の場合は「製紙業」に該当し産業廃棄物になるなど、詳細に説明をいただきました。研修会後の参加者の問合せも多くあり、技術交流会あるいは地区別情報交換会等での利用を促しているところです。

### 3. 「環境保全活動の積極的な取組みについて」

中国塗料（株）滋賀工場 様

講師：田中 透氏



環境保全活動を工場一丸となって推進している取組みを、事例を交えた内容で、特にメーカーとして、環境負荷低減とした IBC システムは、ユーザーとの二人三脚で促進してきた環境にやさしいシステムで、塗料ロスの削減と廃缶（産業廃棄物）の削減を実施した取組みで大きな成果をあげられております。

また、工場排水の管理については監視池の水面の状態を、pH 計、油膜計で 24 時間連続監視を実施するなど、異常時の外部への流出防止を図り、リスクマネジメントの一環では工場一丸となった職場別漏洩事故訓練などの実施、地域の景観美化への協力、県、市主催の清掃活動といった社会貢献活動について説明をいただきました。

### 4. 滋賀県南部環境事務所 海東所長のコメント



南部環境事務所所長の海東です。本日はご苦労様でした。

一社目の日立建機ティエラさんのご発表では、低炭素社会づくりに対処すべく、エネルギーの削減は当然のことながら、その他廃棄物の削減や化学物質の管理等、環境管理全般を上手に使われ、更には環境への取組みが企業ブランドや価値をも高めるべく、ポジティブに活動されているという印象を受

けました。

二社目の王子エフテックスさんについては、私もこの3月まで県庁で廃棄物の担当をしておりましたが、廃棄物処理法ではご承知の通り産廃の排出事業者責任というのは非常に重要な問題なのですが、実際にはどうしても廃棄物処理業者主導になっているのが実情で、一昨年前に起こった廃棄冷凍カツ横流し事件であったり、県内でも大規模な不法投棄が発生したりするのが今だに続いています。

廃棄物処理業者がいかに廃棄物処理法の趣旨を理解し、企業としては業者をしっかり選択して責任をもって最後まで確認するということが非常に大事な事です。そういった意味で本日の発表を聞き、これくらいの高いレベルで取り組んでおられるということに本当に

驚きをもちました。先進的な管理という表題がついていますが、このような取り組みが当たり前になっていけば、廃棄物処理業界も大きく変革するのではないかとある種の感銘を受けました。

三社目の中国塗料さんについては、塗料を扱われる中で IBC システムという工夫された取り組みを紹介して頂き、廃缶の削減や塗料ロスの減少等、環境負荷低減システム開発をされ、また電力使用量削減取り組み等、環境全般への取り組みをご紹介頂きました。

本日まで発表頂きましたことについて、かつては公害の発生を防ぐ等のネガティブなイメージであったものが、昨今は地球温暖化対策やひいてはコスト削減等企业イメージアップも含めて、守りから攻めへの姿勢となっており、環境が企業経営そのものに深く関わってきていることを非常に頼もしく素晴らしいなと感じました。

最後に、この研修会のような湖南・甲賀環境協会の活動を通じて、各企業で情報が共有され、それぞれのレベルアップやお互いの切磋琢磨に活用されることは非常に大切に貴重だと思います。このような取り組みがますます継続発展しますようお願い致しまして、私からの感想とさせていただきます。本日は有難うございました。

## 滋賀県甲賀環境事務所 明石所長のコメント



甲賀環境事務所所長の明石です。本日の発表有難うございました。三社様のご発表とも私も大変感心しながら、また新鮮に聞かせて頂きました。

日立建機ティエラさんは昨年度「滋賀県低炭素社会づくり賞」を受賞されたということでおめでとうございます。これは「滋賀県低炭素社会づくり条例」の中に事業者行動計画制度というものがあり、本日お集りの多くの企業でも計画書を提出されています。私もこの制度策定担当時に工夫致しまして、滋賀県オリジナルな部分として貢献量評価制度を取り入れました。この制度は全国的にも川崎市と滋賀県のみ独自の取り組みです。どのような内容かと言いますと、企業から環境に優しい製品のアイデアを生み出して頂き、世の中に提供し、社会全体ひいては地球レベルで CO2 削減に貢献できるような製品を評価・公表できるようにしようと、事業者行動計画制度を通じて PR して頂けるようフォーマットにしたということです。その点日立建機ティエラ様の発表の中にもありましたように、建設機械の生産・使用を通じた低炭素社会づくりへの貢献が評価されたのではないかと考えております。

王子エフテックスさんのお話についても、「廃棄物処理法」に基づく排出事業者責任や産廃の管理に関しては、先ほどの海東所長のお話にもありましたように、産廃業者に委託したら企業の責任が終わるわけではなく、場合によっては排出事業者に戻ってくることもあるので非常に厳しい法律となっています。この点におかれては、非常にお手本のような管理をされているお話をして頂いたと思います。公表制度の部分につきましてもそれぞれ立場によっては異なる観点もあると思いますが、公表することによって業者さんが色々売

り込みに来て、そのことが結果的にチューニングに繋がるということは、本日初めて知り大変勉強になりました。

中国塗料様のお話につきましては、環境全般に関していろんな創意工夫をされているという点を広く聞かせて頂きまして有難うございました。

最後に、この研修会は本当に有意義な機会だと思います。協会加盟企業が集まってこれほど様々な情報共有を図ることは湖南・甲賀管内企業全体のレベルアップに繋がっていることに間違いのないと思いますので、引き続きこのような機会を設けて頂けることを希望しております。有難うございました。